

なめらかな手触りのクリーム状の紙粘土で色々な素材を固めてみましょう

# 液体粘土でタオルを固めよう

## 作品づくりのオススメポイント

- 水分が多く、クリームのような不思議な手触りを楽しみましょう。
- 液体粘土は、布・軍手・紙・段ボールなどに浸すとしみ込み、乾燥すると紙粘土のように硬くなります。
- 液体粘土で固めた、布の素材感や風合いを生かした作品づくりを心がけましょう。

## 用意するもの



- ドローリー
- ペットボトルなどの芯
- 筆
- 紙粘土
- 水彩絵の具



1 タオルをドローリーにしっかり浸します。

**POINT** ドローリー(L)を使用する場合は容器に移してから浸します。



2 浸したタオルをペットボトルなどの芯に被せ固めます。

**POINT** ドローリーが染みていない所は筆で上から塗りましょう。



3 ドローリーが乾燥したら芯を抜きます。

**POINT** 芯は抜かずにそのまま使用してもかまいません。



4 紙粘土をもって飾りをつけます。

**POINT** 紙粘土は取れないように接着面をしっかり押さえましょう。



5 紙粘土が乾燥したら絵の具で着色して完成です。

**POINT** ドローリーを塗って乾燥させれば、水彩絵の具で簡単に色がつけれます。

